

## Uzbek Journal of Legal Studies に期待する！

名古屋大学名誉教授 杉浦 一孝

Kazutaka Sugiura

Emeritus Professor of Nagoya University

オンライン法律雑誌“Uzbek Journal of Legal Studies”（UJOLS）創刊号が刊行されることになった。ウズベキスタンと他の中央アジア諸国の法・法学に関する論文、資料等を掲載するこの法律専門雑誌は、名古屋大学をはじめとする日本の大学で法学の研究を開始し、博士号を取得したウズベキスタンからの元留学生が中心となって編集したものである。

今世紀に入るまで、日本では、ウズベキスタンその他の中央アジア諸国の法・法学を対象とした本格的な研究はなされておらず、それはまさに未開拓な分野であった。そればかりでなく、研究の前提となる当該国の法令・裁判例等の第一次資料すらないような状況であったため、日本では、ウズベキスタン等の法・法学は、ほとんど知られていなかったのがある。

このような状況を変える大きな契機となったのは、2002年2月に名古屋で開催された国際シンポジウム「21世紀中央アジアにおける体制転換と法（“Legal and Structural Transition in 21<sup>st</sup> Century Central Asia”）— 法整備の現状と課題」（『報告集』名古屋大学法政国際教育協力研究センター・名古屋大学大学院法学研究科、2005年4月）であり、それ以降、名古屋大学の法整備支援事業の一環として、とくにウズベキスタンから留学生を受け入れたことである。

それから15年後の今日、その元留学生を中心とした若い研究者たちの手によるUJOLSが創刊されたことは、私にとって感慨無量である。UJOLSの今後の着実な発展を期待したい。